

営農情報（小麦）

第49号 令和4年3月28日
福岡大城農業協同組合
南筑後普及指導センター

1 生育概況

麦の播種後から2月下旬まで低温傾向で乾燥気味に経過しており、出穂期は、昨年よりやや遅れることが予想されますが、播種時期等により生育に差がみられるため、麦の生育に応じた管理作業に努めます。

今後は、降雨により根痛みをする可能性がありますので、枕地や排水溝を整備し、ほ場内に滞水しないように排水対策を徹底してください。

予想出穂期 「シロガネコムギ」, 「ちくしW2号」とも
11月下旬に播種 : 4月 1日頃

2 赤かび病防除

◎防除適期は、開花期（出穂期の7～10日後）です。

<防除の目安>

※11月下旬に播種の場合

品種	防除適期	薬剤名	10a 散布量	備考
シロガネコムギ	4月7日～15日	粉剤 トップジンM 粉剤 DL	4 kg	出穂期以降 2回以内 収穫 14日前まで
ちくしW2号	1回目：4月7日～15日 2回目：1回目の5～7日後	液剤 トップジンM 水和剤	1,000倍 (水 100L)	

※上記の防除適期は、4月1～5日に出穂したほ場の目安です。生育により出穂時期は異なりますので、必ず開花（白い葯が見える）を確認し、適期防除に努めます。

※出穂期以降に降雨や曇天が続く場合は、「シロガネコムギ」も赤かび病が多発するため、2回目防除（1回目防除の5～7日後）を行います。

※防除は、朝夕の風のない時に行いましょう。隣接ほ場に他作物が作付されている場合は、農薬が飛散しないよう特に注意して下さい。

3 ちくし W2 号の穂揃い期追肥

近年、「ちくし W2 号」の平均子実タンパク質含有量が目標値の 12.0%に達していません（令和 3 年産：11.3%、令和 2 年産：11.1%、令和元年産：11.5%）。そのため、令和 4 年産の麦作こよみでは、穂揃期追肥を増量しています。尿素の葉面散布は、赤かび防除と同時に行うことができます。

ちくし W2 号の穂揃い期追肥量

品種	肥料名	施用時期	10a 散布量
ちくし W2 号	硫安	開花期(出穂期の 7～10 日後)	20kg
	尿素	1 回目：開花期(出穂期の 7～10 日後) 2 回目：1 回目の 5～7 日後	4 kg/水 100L× 2 回

～赤かび病防除と同時の尿素葉面散布の方法～

- 赤かび病防除時期（開花期）に、10 a 当たり尿素 4 k g と農薬を、水 100ℓ に溶かして散布します。
- なお尿素葉面散布の場合、晴天で気温が高い日などは、葉先や芒が若干枯れますが、粒の充実や収量への影響はありません。
- ただし、濃度が高いと葉焼けが激しくなるため、一度に 5 kg/水 100L/10a より濃く散布しません。
- 散布後は散布器具が故障しない様、洗浄を入念に行います。（ノズル、ホースだけでなく、器具全体を水洗いする）

<用語解説>

- 出穂期・・・麦粒がわずかに出た穂の割合が圃場全体の 4～5 割程度になった時
- 穂揃い期・・・出穂した麦が圃場全体で 8 割程度出た時
- 開花期・・・小麦では、白い葯がみえる時期。

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう！